

親字	音訓	甲骨文・金文・古文・篆書 (殷・西周・春秋・戦国・秦)	説文解字 篆書	隷書 (前漢・後漢)	草書	行書	楷書 (南北朝から初唐)	正字体 楷書	日本上代 から 平安初期
妖	ヨウ あやしい なまめかしい わざわい 常①		𠃉	妖			妖妖妖	妖	伏見天皇願文 節用 女4
姐	シャ おね あねご ねえ ①		𠃉				姐姐姐	姐	伏見天皇願文 節用 女5
委	イ ゆだねる まかせ くわしい おく すてる 教3 常①	𠃉 𠃉 𠃉	委	委	委	委	委委委	委	元暦萬葉① 再板農業全書 女5 坊っちゃん
姑	コ しばらく しゅうとめ しゅうと ①	𠃉 𠃉 𠃉	姑	姑	姑	姑	姑姑姑	姑	粘葉本朗詠 女今川宝島台 女5 坊っちゃん
妻	サイ セイ つま めあわす 教5 常①	𠃉 𠃉 𠃉	妻	妻	妻	妻	妻妻	妻	元暦萬葉① 家道訓 女5 坊っちゃん
始	シ はじまる はじめる 教3 常①	𠃉 𠃉 𠃉	始	始	始	始	始始	始	伊那内親王願文 節用 女5 坊っちゃん

平安中期 から 室町	江戸版本	康熙字典 1716年 部首・画数	弘道軒 四号	夏目漱石 坊っちゃん こころ	通字体活字 明治41~ 大正3年	漢字 整理案 大正8年	文部省 活字 昭和10年	当用 漢字表 昭和21年	太宰治 人間失格 昭和23年	当用漢字 字体表 昭和24年	教育漢字 平成4年	参考
妖	妖	妖					妖	妖				妖 中国
												妖 台湾 妖 香港
	姐	姐	姐									姐姐 台湾 香港 姐 中国
委	委	委	委	委			委	委				委 中国
												委 台湾 委 香港
姑	姑	姑	姑	姑			姑					姑 中国
												姑 台湾 姑 香港
妻	妻	妻	妻	妻			妻	妻	妻	妻		妻 中国
												妻 台湾
												妻 香港
始	始	始	始	始			始	始	始	始		始 中国
												始 台湾
												始 香港

【妖】2010年(平成22年)に常用漢字表に追加された。説文篆文には旁にくさかんむりのようなものがあるが、それを継承した字体が見つからない。

【委】漢代以降、左右に伸ばすのは「女」の横線で、「禾」の右ハライは止める。

【妻】漢代以降、左右に伸ばすのは「女」の横線で、他の横線は抑制する。説文解字の大徐本と段注本の古文の字体が異なる。

親字	音訓	甲骨文・金文・古文・篆書 (殷・西周・春秋・戦国・秦)	説文解字 篆書	隷書 (前漢・後漢)	草書	行書	楷書 (南北朝から初唐)	正字体 楷書	日本上代 から 平安初期
姪	テツ めい 人①								高麗碑 叔氏墓誌 干祿・序 豊替指歸
娛	ゴ たのしむ 常①								聖武天皇雜集
娠	シン はらむ みごもる 常①								
娘	ジョウ ニョウ むすめ こ 常①								
嬢	ジョウ むすめ 常①								豊替指歸
嬢	ジョウ むすめ 人②								
婉	ベン うむ 人①								司馬遷後墓誌 五経・女部
婉									
婚	コン 常①								魏玉集
娼	ジョウ あそびめ ①								玉泉帖

【姪】甲骨には人名としての用例しかなく、亡字であり、現在の「姪」とは別字種らしい。

【娛】漱石が不思議な字体を書いている。偏は何を書いているのだろう。

【娠】甲骨に同じ字体があるが、女性の名としてしか使用され

てないらしく、現在の字とは別字種だともおまわれるので掲載しなかった。

【娘】「娘」は「嬢」の略字だともおまわれる。『教育上より見たる明治の漢字』に「嬢」の許用字として「娘」が載っている。中国では「娘」と「嬢」が「娘」に統合されている。甲

平安中期 から 室町	江戸版本	康熙字典 1716年 部首・画数	弘道軒 四号	夏目漱石 坊っちゃん こころ	通字体活字 明治41~ 大正3年	漢字 整理案 大正8年	文部省 活字 昭和10年	当用 漢字表 昭和21年	太宰治 人間失格 昭和23年	当用漢字 字体表 昭和24年	教育漢字 平成4年	参考
姪	姪	姪	姪				姪					姪 中国
娛	娛											娛 台湾 娛 香港
娛	娛	娛	娛	誤			娛	娛		娛		娛 中国
娛				誤								娛 中国 娛 中国
	娠	娠	娠	娠			娠	娠		娠		娠 娠 台湾 香港 娠 中国
		娘	娘	娘	娘		娘	娘	娘	娘		娘 中国
嬢	嬢	嬢	嬢	嬢	嬢		嬢	嬢	嬢	嬢		嬢 台湾 嬢 台湾
				嬢								嬢 香港
				婉	婉		婉					婉 中国
				婉								婉 台湾
												婉 香港
婚	婚	婚	婚	婚			婚	婚	婚	婚		婚 中国
婚				婚								婚 台湾 婚 香港
	娼	娼	娼				娼					娼 台湾 娼 香港 娼 中国

骨の「娘」は人名としての用例しかないらしく、別字種だともおまわれる。「嬢」は説文にあるが古代の字に見えない。漱石は略しすぎ。太宰の「嬢」は「口」が二つ繋がっている。

【婉】元々は「子」に従う字だったらしい。説文では「子部」にある。JIS2004で字体が変更された。現在は康熙字典と同じ

「婉」で女の7画だが、変更前は「婉」で女の8画。人名用漢字はもともと7画の「婉」であって8画の「婉」ではない。

※当用漢字字体表の下の○×は、複数の字体がある字種のうち昭和24年当時、岩田母型製造所での母型の有無を示す。

親字	音訓	甲骨文・金文・古文・篆書 (殷・西周・春秋・戦国・秦)	説文解字 篆家	隸書 (前漢・後漢)	草書	行書	楷書 (南北朝から初唐)	正字体 楷書	日本上代 から 平安初期
婆	ハ ばば						婆 婆 婆	婆	聖武天皇推集
婦	フ おんな						婦 婦 婦 婦 婦 婦 婦 婦	婦	杜家立成
							婦 婦	婦	
							婦 婦	婦	
							婦 婦	婦	
婁	ル ウ つなぐ つながれる						婁 婁 婁 婁	婁 婁	瑠玉集
媠							媠 媠	媠 媠	陸澄・空翻来日録
媢	バイ なかだち						媢 媢	媢	五経・女部
媛	エン ひめ						媛 媛 媛 媛	媛 媛	麴幹指歸
媢	セイ もこ						媢 媢 媢 媢	媢 媢	大聖武
媢							媢 媢	媢	五経・土部
媢									

平安中期 から 室町	江戸版本	康熙字典 1716年 部首・画数	弘道軒 四号	夏目漱石 坊っちゃん ころころ	通字体活字 明治41~ 大正3年	漢字 整理案 大正8年	文部省 活字 昭和10年	当用 漢字表 昭和21年	太宰治 人間失格 昭和23年	当用漢字 字体表 昭和24年	教育漢字 平成4年	参考
婆	婆	婆	婆	婆			婆	婆	婆	婆		婆婆 婆 台湾 香港 中国
婦	婦	婦	婦	婦	婦		婦	婦	婦	婦		妇 中国
												婦 台湾
												婦 香港
												媠 中国
												媠 台湾
												媠 香港
媢	媢	媢	媢	媢			媢	媢	媢	媢		媢 中国
												媢 台湾 香港
媛	媛	媛	媛	媛			媛	媛	媛	媛		媛媛 台湾 香港 中国
媢	媢	媢	媢	媢	媢		媢	媢	媢	媢		媢 中国
												媢 台湾
												媢 香港

【婦】 傍の上部の「ヨ」の真ん中の横線は古代は右に出ない。
 【婁】 説文解字の大徐本には篆文と古文しかないが、段注本には籀文が追加されている。ほとんどの漢字は手書きでは伸ばす線は1字に1箇所整理されるが、この字はまだ決まっていならしい。私見では「女」の横線だけを伸ばすのがよい

と思う。
 【媛】 2010年(平成22年)に常用漢字表に追加された。2020年度から教育漢字になった。
 【媢】 「媢」「媢」「媢」「媢」は異体字。説文には「土部」に「媢」が載っており、その或体として「媢」が載っている。